

平成31年3月29日

お知らせ

資料提供先 岡山県政記者クラブ

平成31年度 中国地方整備局岡山県関係直轄予算概要 (河川、道路、港湾分)

岡山河川事務所

岡山国道事務所

宇野港湾事務所

問い合わせ先

(河川関係) 岡山河川事務所 TEL 086-223-5101 (代表)
090-7970-7891 (夜間・休日)

副所長 つねやす まさひろ
常保 雅博 (内線205)

工務課長 はまもと けんたろう
濱本 賢太郎 (内線311)

(道路関係) 岡山国道事務所 TEL 086-214-2220 (代表)
080-6317-3768 (夜間・休日)

副所長 うめだ としお
梅田 俊夫 (内線204)

工務課長 あべ まさかず
安部 正和 (内線411)

(港湾関係) 宇野港湾事務所 TEL 086-522-0507 (工務課)
080-2923-3657 (夜間・休日)

副所長 かや けんじ
嘉屋 健二 (内線640)

工務課長 おさき やすし
尾崎 靖 (内線631)

目 次

1. 平成31年度 直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）・・・1

2. 事業箇所別説明資料

①河川事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

②道路事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

③港湾事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

1. 平成31年度 岡山県関係直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）

（単位：百万円）

区 分	事 業 費		対前年度比	備 考
	平成30年度	平成31年度		
河 川 関 係	3, 4 5 0	1 2, 5 9 5	3. 6 5	
道 路 関 係	1 3, 4 5 0	1 5, 3 4 3	1. 1 4	
港 湾 関 係	2, 1 0 0	4, 6 0 9	2. 1 9	
合 計	1 9, 0 0 0	3 2, 5 4 7	1. 7 1	

（注）※事業費はいずれも年度当初予算額

※業務取扱費を除く。

※河川関係について、河川維持修繕費、堰堤維持費は含まない。

※道路関係について、道路調査、維持管理・交安Ⅱ種は含まない。

2. 事業箇所別説明資料

① 河 川 事 業

事業推進	よしいがわ あさひがわ たかはしがわ 吉井川・旭川・高梁川 河川改修事業 ～岡山平野を高潮・地震から守る事業～ くばん にしこうざい ひらい つるしんでん (九幡・西幸西・平井・鶴新田 地区)	・ ・ ・ ・ ・ 3
事業推進	河川激甚災害対策特別緊急事業（直轄・補助） たかはしがわ 高梁川 河川改修事業（ おだ がわ 小田川 合流点付替え） 「真備緊急治水対策プロジェクト」	・ ・ ・ ・ ・ 4
事業推進	よしいがわ 吉井川 総合水系環境整備事業 ～吉井川の利活用促進を図る水辺整備～	・ ・ ・ ・ ・ 5

事業費3,207百万円
※吉井川水系全体
事業費1,339百万円
※旭川水系全体
事業費7,341百万円
※高梁川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

吉井川・旭川・高梁川の河口部である岡山平野は干拓等により形成されたゼロメートル地帯であり、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、堤防等が沈下・崩壊する可能性があり、河川水や海水の流入により、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

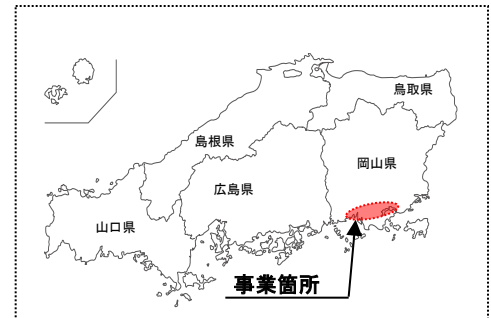
このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「岡山平野を高潮・地震から守る事業」として、高潮堤防の整備を実施するとともに、地震対策を一体的に推進します。

2. 事業箇所

〈吉井川〉岡山県岡山市東区九幡、西幸西地先
おかやまし ひがしく くばん にしこうざい

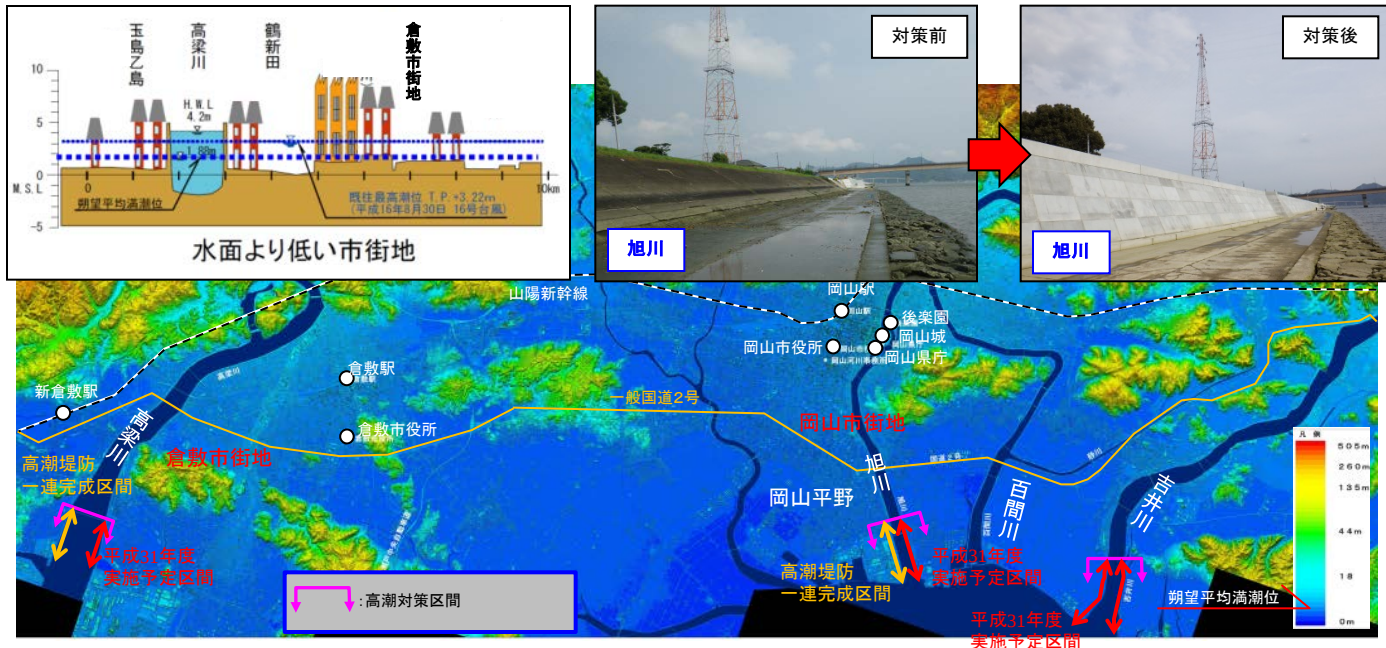
〈旭川〉岡山県岡山市中区平井地先
おかやまし なかく ひらい

〈高梁川〉岡山県倉敷市鶴新田地先
くらしきし つるしんでん



3. 平成31年度予定事業内容

吉井川・旭川・高梁川の下流部で計画している地震対策とあわせて、高潮堤防の高さが不足する区間の堤防整備を推進します。



4. 期待される整備効果

高潮堤防を整備することで、平成16年8月高潮(既往最高潮位)が再び発生した場合においても、浸水被害が軽減されます。また、地震対策の実施により、大規模地震時における液状化等による堤防の被災が軽減され、堤内地への河川水や海水の流入による浸水被害が軽減されます。

「真備緊急治水対策プロジェクト」

河川激甚災害対策特別緊急事業（直轄・補助）
高梁川河川改修事業（小田川合流点付替え）

国：事業費1,549百万円
県：事業費1,300百万円
事業費1,204百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

平成30年7月豪雨において、堤防の決壊や越水等により甚大な浸水被害が発生した小田川と岡山県が管理する小田川の3支川（末政川・高馬川・真谷川）では、国と県が連携した緊急治水対策を実施しています。国は、「小田川と高梁川の合流点を下流側へ付け替え小田川の水位を下げる事業」として小田川合流点付替えや築堤等の整備を実施し、岡山県は、堤防嵩上げや堤防強化等の重点的な堤防整備を概ね5年間で実施します。

2. 事業箇所

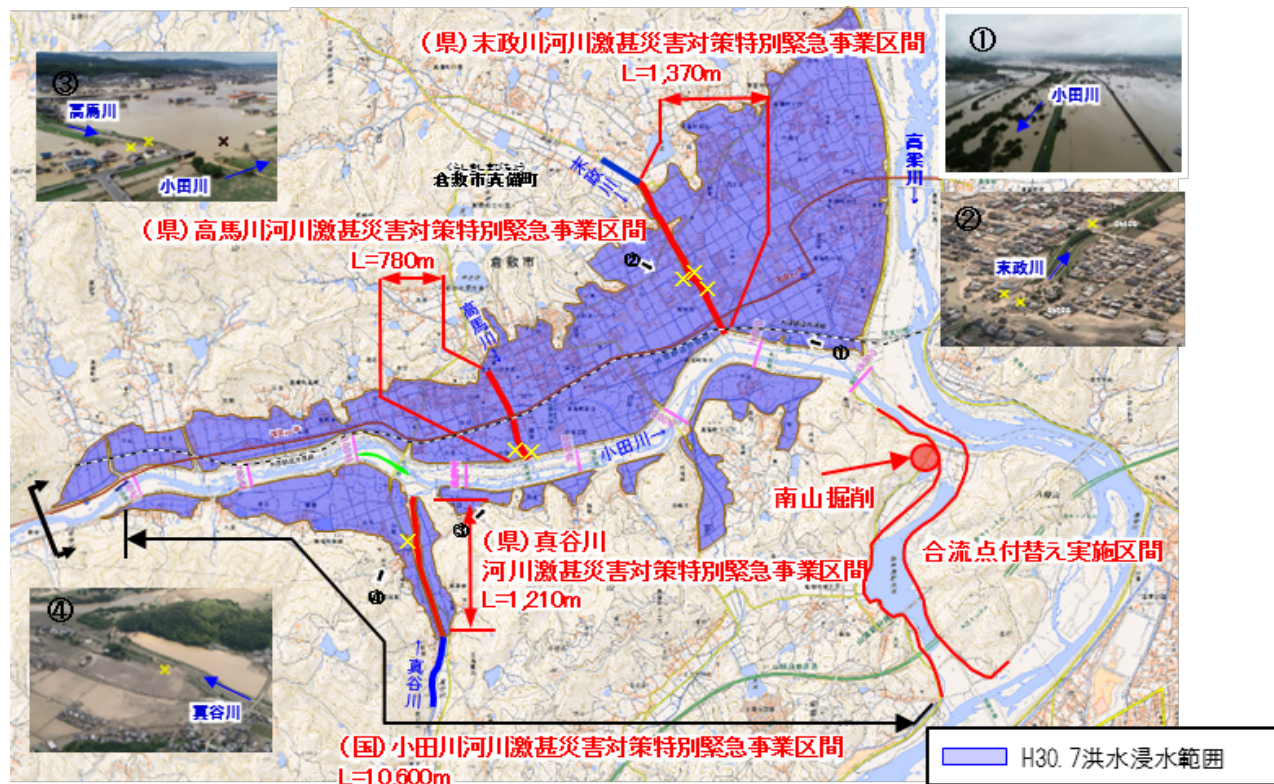
国：岡山県倉敷市船穂～倉敷市真備地先
県：岡山県倉敷市真備町有井、箭田、服部地先



3. 平成31年度 予定事業内容

国：柳井原地先において、南山の掘削や築堤等を実施します。

県：小田川の3支川において、築堤や護岸整備等を実施します。



4. 期待される整備効果

決壊の要因を踏まえた重点的な堤防整備（堤防嵩上げ・堤防強化対策等）及び小田川と高梁川の合流点を下流側へ付替えることで、平成30年7月豪雨時の洪水が再び発生した場合でも河川水の氾濫による浸水被害の防止が図られます。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

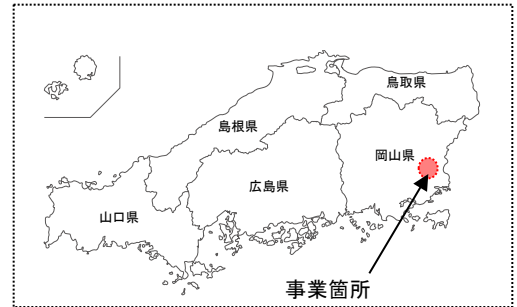
和気町では、「人かがやき 共に支え合う 快適で 健やかなまち」を将来像としたまちづくりに取り組んでおり、田原地先は、伝統行事である和文字焼きが^{わもんし}開催されるなどまちづくりにとって重要な場所となっています。しかし、吉井川には雑草や雑木が繁茂し、水辺を安全に利用することができない状況です。国土交通省も和気町のまちづくりと連携し、高水敷整正、親水護岸の整備を行い、地域の活性化を推進します。

2. 事業箇所

わけぐんわけちょうたわら
岡山県和気郡和気町田原地先

3. 平成31年度 予定事業内容

親水護岸の整備及び緩傾斜法面整備、高水敷整正に向けた測量・設計を行います。



4. 期待される整備効果

整備の実施により、カヌーエコツアー等の活動の場として利用されることで、地域の活性化が期待されます。

②道 路 事 業

開通予定	一般国道2号 倉敷 ^{くらしき} 立体	7
事業推進	一般国道180号 岡山 環状南 ^{おかやまかんじょうみなみ} 道路	8
新規事業化	一般国道2号 無津 ^{むつ} 交差点改良	9
防災・減災、国土強靱化のための緊急対策		
	岡山2号維持管理（緊急対策）	10
概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）		
	国道2号 岡山 ^{おかやま} 市 古新田 ^{し こしんでん} ～ 倉敷 ^{くらしき} 市 新田 ^{し しんでん}	11

1. 事業の必要性及び概要

倉敷立体は倉敷市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、都市機能の充実、地域経済の発展を目的とした延長7.7kmの道路です。

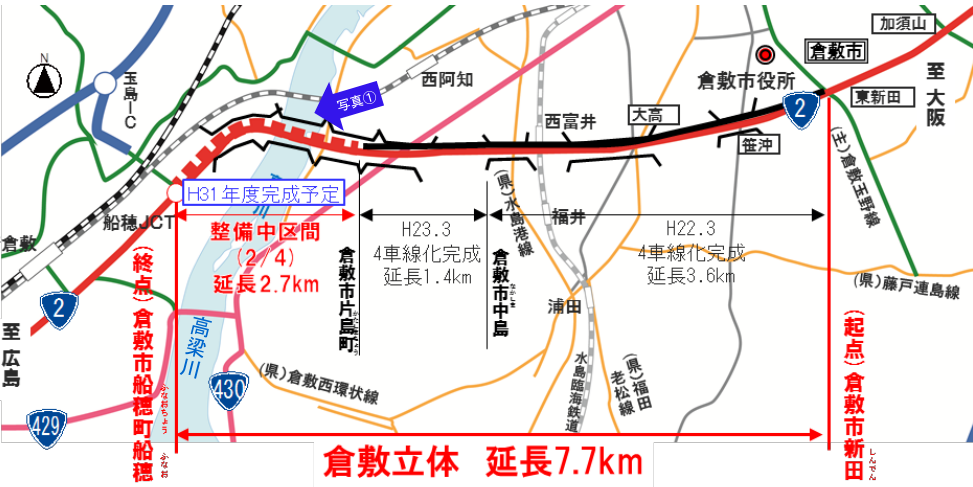
開通予定

2. 事業箇所

岡山県倉敷市新田～倉敷市船穂町船穂

3. 平成31年度 予定事業内容

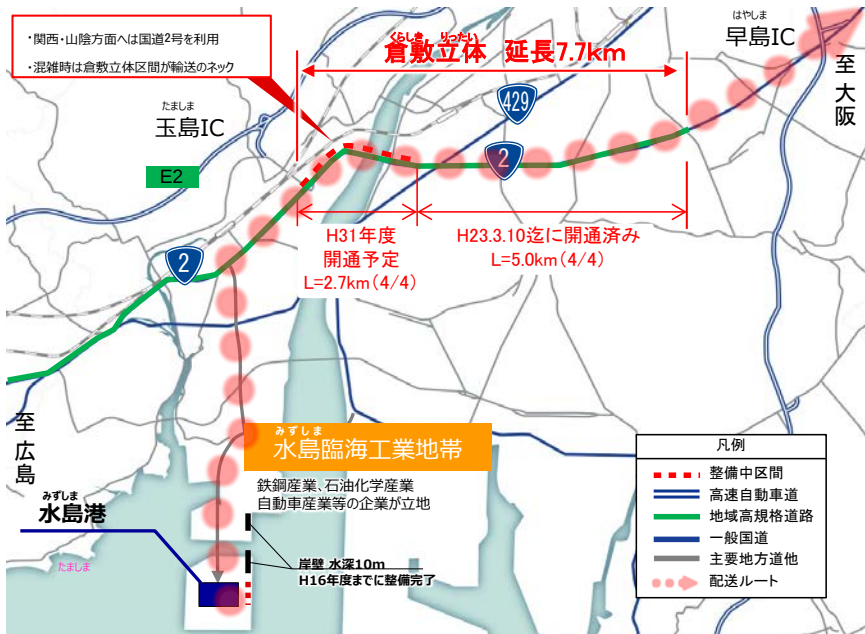
平成31年度の4車線開通に向け橋梁工事、舗装工事等を推進します。



【写真①】高梁川大橋の架橋状況

4. 期待される整備効果

- 物流効率化による地域振興
- 関西・山陰方面への配送は、国道2号を利用しているが、倉敷立体区間の渋滞がボトルネックとなり、物流に支障をきたしている。
- 倉敷立体の整備によって渋滞が緩和し、関西・山陰方面への搬送の所要時間の短縮が期待される。



▼期待される道路の役割(効果)

【現況】	【整備後】
玉島IC～早島IC	倉敷立体経由
約37分	約9分短縮
	約28分

現況：H27全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度
整備後：事業区間は規制速度60km/hとして計算 ※市道は40km/hとして計上

1. 事業の必要性及び概要

岡山環状南道路は、岡山市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び沿道環境の改善等を目的とした延長2.9kmの道路です。

2. 事業箇所

岡山県岡山市南区藤田～岡山市南区古新田

3. 平成31年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、橋梁工事等を推進します。



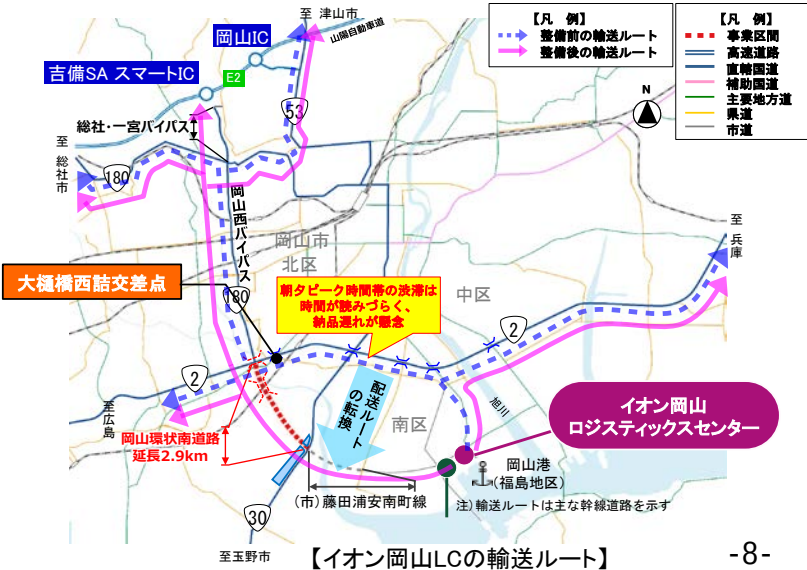
【写真①】大福地区の施工状況（橋梁下部工）

【大樋橋西詰～イオン岡山LCの所要時間の短縮】



4. 期待される整備効果

- 物流の効率化による産業振興
- 岡山市の国道2号以南には、中央卸売市場や製造・物流企業等が立地しています。
- 岡山環状南道路と市道藤田浦安南町線が連続的に整備されることで、岡山市南部地域を横断的に結ぶネットワークが形成され、物流の効率化による産業振興が期待されます。



新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、交差点間隔が長いうえ直線区間であるために速度が出やすく、交差点の規模が大きいために、信号の変わり目における進行・停止の判断がばらつきやすいことや、右折車両が直進車線に溢れでることにより追突事故などの死傷事故が多発しています。

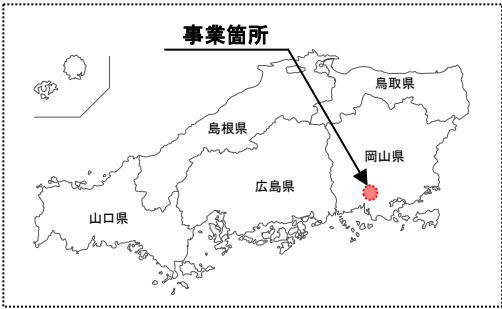
無津交差点改良は、交通事故削減を図るために、右折車線の延伸及び停止線を前に出すことによる交差点のコンパクト化を行います。

2. 事業箇所

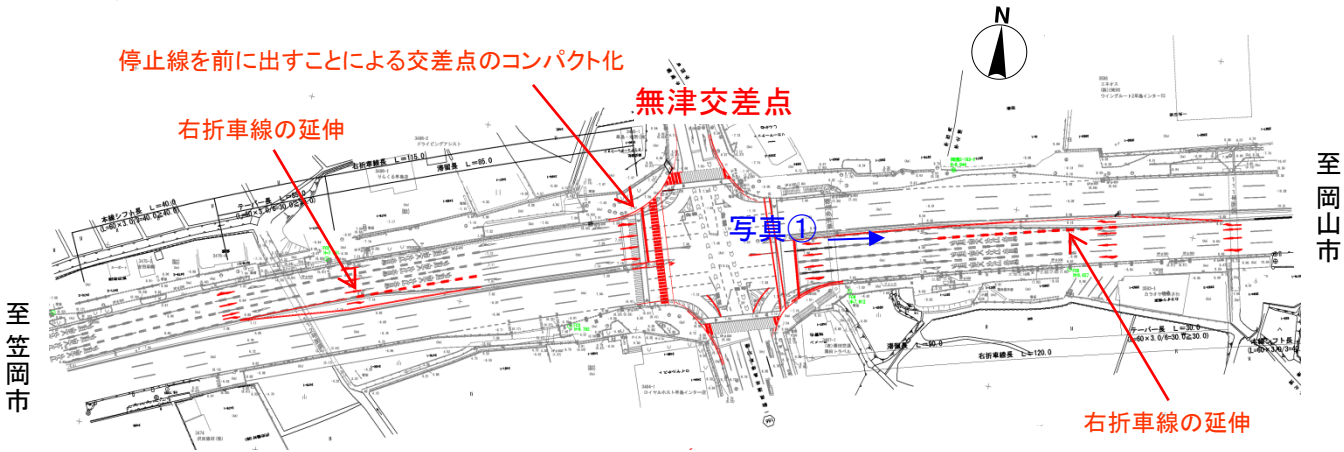
つくば はやしちようはやしま
岡山県都窪郡早島町早島

3. 平成31年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



写真① 右折車両が直進車線に溢れている状況



●防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

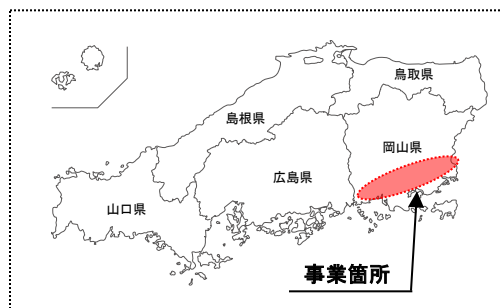
1. 事業の必要性及び概要

一般国道2号は大阪府大阪市から福岡県北九州市を結ぶ主要幹線道路です。

地震発生時の人命救助や復旧活動を支えるため、耐震補強対策を実施することで、災害時においても緊急輸送道路の機能を維持し、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

一般国道2号（岡山県備前市～笠岡市）



3. 平成31年度 予定事業内容

橋梁の耐震補強のほか法面对策を行います。

近景



対策事例

橋脚の補強(RC巻立て)



落橋防止構造



◇平成31年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

主な調査箇所は、下記のとおりです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山口県

山陰道 大井～萩

山口県

国道188号 柳井・平生バイパス

※調査が進捗した後に、都市計画変更手続きに着手予定。

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

鳥取県

鳥取豊岡宮津自動車道 鳥取～福部

島根県・山口県

山陰道 須子～田万川

岡山県

国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田

山口県

山陰道 三隅～長門

広島都市圏については、国道2号広島南道路の延伸も含めた幹線道路ネットワークの検討や、平成30年7月豪雨災害で大きな被害のあった呉市周辺域の幹線道路ネットワークの機能強化等のための調査を実施します。

（しものせきさだきゅうしゅう）

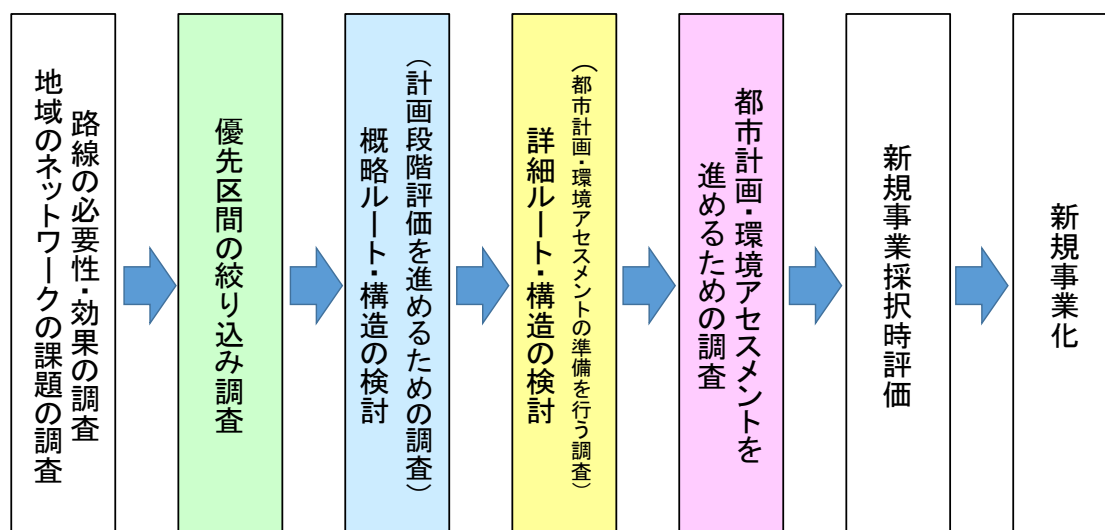
下関北九州道路については、山口県及び福岡県と協力しつつ、直轄調査に着手します。

下関都市圏及びその周辺部については、広域的な幹線道路ネットワークの機能強化等に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



③港 湾 事 業

事業推進	みずしま 水島 港国際物流ターミナル整備事業・・・・・・・・・・	1 3
事業推進	みずしま 水島 港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業・・・・・・・・・・	1 4

事業推進**1. 事業の必要性及び概要**

水島港の背後地には穀物取扱企業が多数立地し、食料コンビナートを形成しており、近畿・中国・四国地方の穀物輸入拠点として、重要な役割を果たしています。しかし、それら穀物取扱企業が利用するそれぞれの既存ターミナルは、大型穀物運搬船に対応しておらず、非効率な輸送が行われています。

一方、平成23年5月の「水島港」の国際バルク戦略港湾(穀物)の選定を契機として、新たに配合飼料製造業者や食品製造業者等が玉島地区に新工場を稼働させており、水島港の拠点化の進展に対応した穀物の大量一括輸送の実現が喫緊の課題となっています。

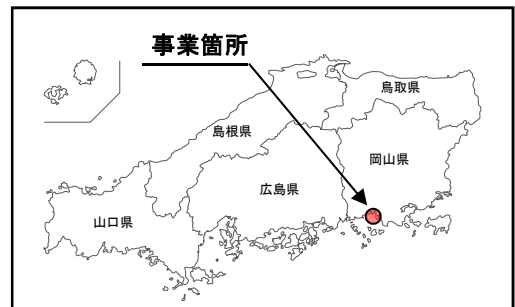
このため、穀物の安定的かつ安価な輸入の実現に向けて、企業間の連携による大量一括輸送に対応した輸入拠点及び効率的な海上輸送ネットワークを形成するため、水島港水島地区及び玉島地区において、港湾施設の整備を行います。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成31年度 予定事業内容

玉島地区岸壁(水深12m)の上部工事、地盤改良工事等を推進します。

**4. 期待される整備効果**

本事業により、中国、四国地方等の畜産業に必要な不可欠な配合飼料の原料等として用いられる穀物の企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となります。

水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業

事業費16百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(穀物、鉄鉱石)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や、玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

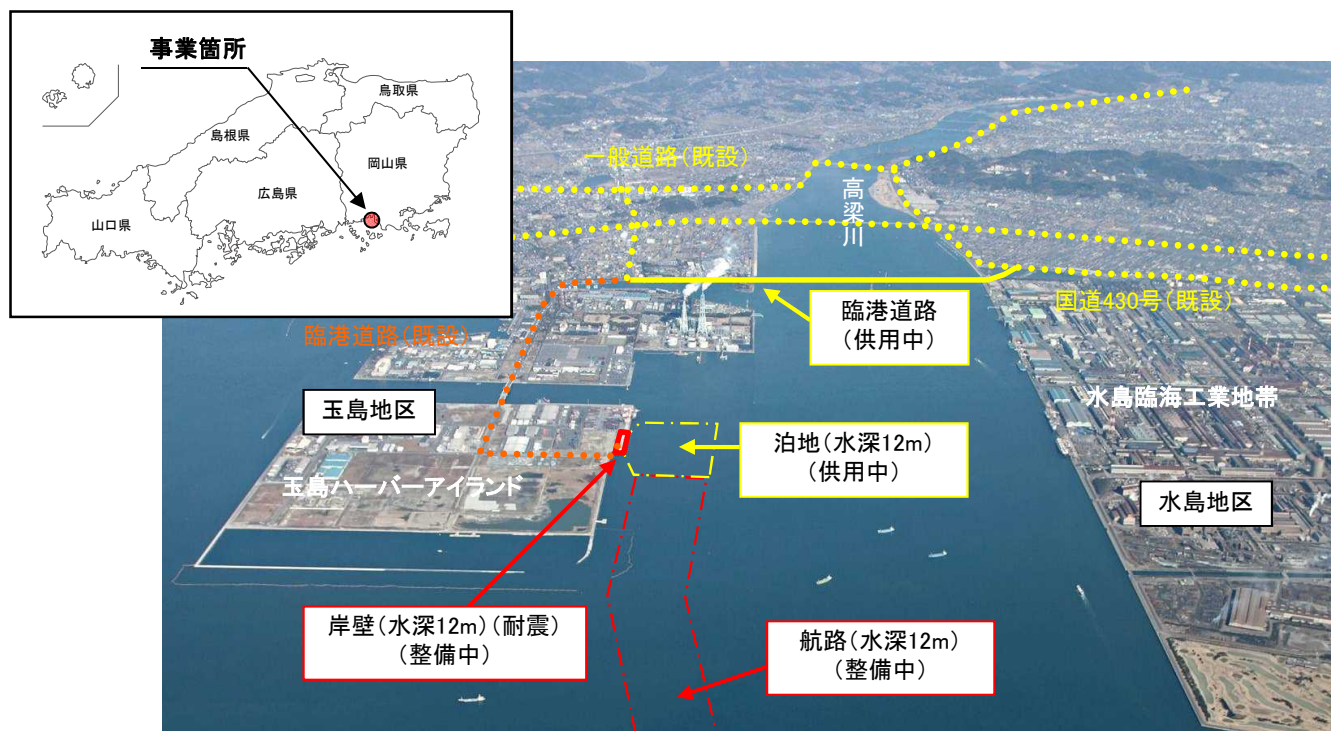
このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 平成31年度 予定事業内容

コンテナ流出防止柵設置のための調査・設計を実施します。



4. 期待される整備効果

本事業により、物流コストを削減し、基幹産業の国際競争力の強化を図り、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化を通じ、地域防災力向上に寄与します。